

平成28年度の六本木牧場 ～ 酪農を知るほど、牛乳がおいしい～

本会議は6月5日、六本木ヒルズアリーナにおいて、牛乳の日イベント「六本木牧場」を開催した。イベント会場では、酪農家や関係団体の協力を得て模擬搾乳体験コーナーなどが開設され、昨年より500名ほど多い約7,500名が来場した。同時に、熊本地震義援金の受付も行われた。

3年目となる本年度の「六本木牧場」は、生活者に「日本の酪農」に親んでもらうことによって、国産の牛乳・乳製品の価値を理解してもらうことを目的としており、メディアに対するPR要素を強化し、情報の拡散を図ることによってイベントに参加できない地域の方も含め、より多くの生活者に「日本の酪農」に親んでもらうことを重視する企画が数多く準備された。

お笑いコンビ・メイプル超合金は、トークショーや模擬搾乳体験のほか、コンビで監修したという牛乳にメイプルシロップと金粉を混ぜたイベント限定のオリジナルミルク「メイプル“調合”金ミルク」の配布を行った。ネタの披露で会場の笑いを誘った二人は、日本の酪農の魅力について、「衛生面や流通の良さ」と「国産の安全性」をアピールした。

介パネル展示」、「ふかふか牧草ベッドで遊ぼう」などが行われたほか、全国の牧場から集められた「ご当地牧場アイスクリーム」、「焼きおにぎりミルクリゾット」、「ミルクスープ」などが販売された。



酪農家による手作りバター教室



酪農家による牧場劇場（紙芝居）



メイプル超合金によるトークショー



ふかふか牧草ベッドで遊ぼう



模型牛での模擬搾乳体験

会場では、日本の酪農や国産の牛乳・乳製品の魅力を伝えるため、酪農家による「手作りバター教室」、「牧場劇場（紙芝居）」、「酪農豆知識クイズラリー」、「酪農紹



全国ご当地牧場アイスクリーム販売